

# 平成21年度 施政方針の概要

「ひと・もの・自然，調和が奏でる

躍動のまち，大崎町」の実現に向けて



大崎町長 東 靖弘

平成21年度の町政運営についての所信表明と平成21年度予算の概要をご説明申し上げ、町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

日本経済は、百年に一度といわれる金融資本市場の混乱を契機に、景気は後退局面に入り、低迷を続けております。

このような状況の下、最重要課題としてとらえております市町村合併問題につきましては、昨年10月に私と町議会議長の連名で志布志市に『合併に関する協議の申し入れ』を行いました。

その後、志布志市長より、『編入合併』について大崎町民の民意を問う意向調査を求められました。『合併』に対する様々な意見を集約した結果、本町においては、今がその時ではないと判断するに至りました。

その結果、目標としていた新合併特例法の期限までの合併が難しい状況となりましたが、今後も両自治体の諸課題について情報交換を行い、機運の高まりを図っていく所存でございます。

さて、このような中『ひと・もの・自然，調和が奏でる躍動のまち』づくり

向け、『今、何をなすべきか』ということを考えますと、今一度足元を見つめ直し、将来につながる施策を着実に実行してまいります。

このような考えで編成いたしました平成21年度の予算総額は109億2,746万6千円で、対前年度比4.9%の増となりました。それでは、主な施策等について申し上げます。

## 【内訳P7参照】

### ■農林振興課関係

多様な農業経営体の育成と維持発展のため、昨年開設しました大崎町農業振興センターを中心とした支援体制の充実に努めてまいります。

水田農業関係につきましては、新たな米政策のもと、生産調整を図りながら、水田の有効活用による食料自給率向上に努め、担い手の育成を図りつつ、安全で安心な水田農業の実現に向け「大崎町水田農業ビジョン」に位置づけられた支援を行うてまいります。

また、災害に強く特色ある米づくりを目指し、実証ほ場を設けて食味向上などの栽培技術の確立に努めてまいります。

食育関係では、おおさき食農交流館事業で食育・食

農体験学習会などを計画実施し、また大崎町食育推進基本計画等の策定に向けた準備に着手してまいります。

営農推進関係では、持続可能な安定した農業経営への支援と担い手の育成・確保を『町担い手育成総合支援協議会』を核に実施してまいります。また、『畑かん営農ビジョン』に基づく営農推進をモデル地区の『中部地区営農振興会』を中心に展開して営農類型の確立と水利用の普及に努めてまいります。

さらに、利用可能な有機物資源の地域内循環を支援し、良質堆肥の投入による肥料のコスト低減化および生産履歴の記帳など、消費者へ安心・安全な農産物を提供する環境保全型農業を引き続き推進してまいります。

畜産関係におきましては、中長期的に足腰の強い生産基盤を築くため『町畜産振興協議会』と連携して生産者の経営と所得の安定を確保する対策に取り組んでまいります。

また、一体的な防疫対策の実施と飼養管理技術の向上など、健全な経営体に誘導するとともに、引き続き経済性の高い遺伝能力を持つ、優良な繁殖家畜の導入

保留を進め、畜産農家の経営安定を図ってまいります。

林業振興につきましては、災害防止と森林の有する多面的機能及び良質材生産を目的とした治山・造林・間伐事業に取り組みとともに、貴重な松林を保護するため、引き続き防除事業を実施してまいります。

有害鳥獣対策では『町有害鳥獣捕獲協議会』と連携し、組織の再編を含め営農管理を改善してまいります。

水産振興につきましては、漁業関係者と一体となつて放流事業による資源管理型漁業を推進し、水産資源の維持および保護に努め、漁業の経営安定に努めてまいります。

### ■耕地課関係

長田地区の水田ほ場整備は、今年度約11ヘクタールの整備を予定しております。

農村振興総合整備事業につきましては、計画されております農道、農業用排水路、集落道、集落排水路等に係る測量設計および工事を逐次実施してまいります。

また、岡別府、長田の両地区において環境に配慮し